

令和4年(2022)

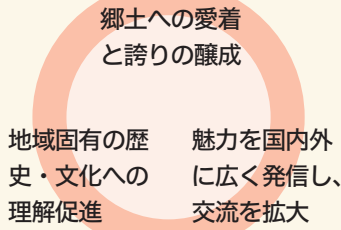
酒井家庄内入部400年を迎えます

酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会を設立

元和8年(1622)に酒井家が庄内に入部してから、令和4年で400年を迎えます。この節目の年に向けて、次代を見据えた庄内・鶴岡の更なる発展を目的に、3月18日に庄内地域の市町や工業、教育、文化関係の代表者らで構成される実行委員会を設立しました。関係自治体や団体等が連携・協力し、庄内一円で事業を展開します。

今年度は令和4年度に向けた全体事業計画の策定や統一ロゴマークの制作をします。今後、入部記念行列や庄内の歴史・文化に触れる市民向け講座など計画していきます。地域固有の魅力について理解を深める機会を創出しながら、交流人口の拡大に向けて、市民の皆さんとともに、鶴岡市の歴史の新たな第一歩を踏み出していきます。

実行委員会が目指すもの



次代を見据えた
庄内・鶴岡の更なる発展



▲設立総会(3月18日/荘内神社参集殿)

江戸時代の鶴岡

豆知識

酒井家の庄内入部

江戸時代初期の庄内は山形藩主・最上義光が治めていましたが、最上氏は元和8年に改易され、徳川四天王の筆頭・酒井忠次公の孫である第3代当主忠勝公が入部。以後約250年間、12代にわたって酒井家が庄内を治めました。

鶴ヶ岡城の拡張

鶴ヶ岡城を居城とし、酒田の亀ヶ崎城を支城とした忠勝公。しかし、当時の鶴ヶ岡城は小規模で、二の丸には土蔵や七軒の武家屋敷が建っているだけでした。忠勝公は新たに三の丸を設け、大勢の家臣が住めるような町作りや城の拡張工事に着手。完成した城は、本丸御殿の周りに三重に水堀と土塁を巡らせた平城でした。東側は内川が堀の役目を果たし、南側に設けた「百間堀」と北側の「溜池」が守りを固めていました。明治8年に廃城となり、本丸と二の丸が鶴岡公園として整備され、現在は市民の憩いの場になっています。



▶鶴ヶ岡城復元図
(鶴岡公園案内板より)

■問合せ 本所政策企画課 ☎25 - 2111内線525
■出典 『図説 鶴岡のあゆみ』 発行：鶴岡市 編：鶴岡市史編纂会

編集・発行/鶴岡市総務部総務課

- | | | |
|-------------|--|--|
| 鶴岡市役所
本所 | 〒997-8601
(メールアドレス)
(ホームページ)
(フェイスブックページ)
(窓口受付時間) | 山形県鶴岡市馬場町9-25
☎0235-25-2111 FAX0235-24-9071
tsuruoka@city.tsuruoka.lg.jp
http://www.city.tsuruoka.lg.jp
https://www.facebook.com/tsuruokacity
月曜～金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前8時30分～午後5時15分 |
| 藤島庁舎 | 〒999-7696 | 市内藤島字笹花25 ☎64-2111 |
| 羽黒庁舎 | 〒997-0192 | 市内羽黒町荒川字前田元89 ☎62-2111 |
| 櫛引庁舎 | 〒997-0346 | 市内上山添字文栄100 ☎57-2111 |
| 朝日庁舎 | 〒997-0492 | 市内下名川字落合1 ☎53-2111 |
| 温海庁舎 | 〒999-7205 | 市内温海戊577-1 ☎43-2111 |



→メールはこちらから



→ホームページはこちらから

《人口と世帯》(令和2年3月31日現在)
住民基本台帳人口合計：124,697人
(男：59,627人、女：65,070人)
世帯数：48,927世帯